

# 取り組み報告資料

## 発表者資料集

- ①大災害を想定した避難訓練実施報告 ツクイ町田鶴川 田中哲也
- ②金井中学校避難所開設訓練参加報告 ぴーぷるケア 青木
- ③金井地区防災訓練 ハートケアプラン 堀場
- ④大蔵町内会防災訓練報告 イワナガ大蔵薬局 鯨岡

# 大災害を想定した 避難訓練実施報告

ツクイ町田鶴川 田中哲也

## 概略

日時：4月19日金曜日

14：30に震度7強

避難訓練想定時間：14：45～

避難場所：鶴川若草児童公園

ご利用者様人数：30名

<内訳>

車椅子6名

自立：17名（うち離設可能性2名）

歩行介助必要者：7名

職員：6名

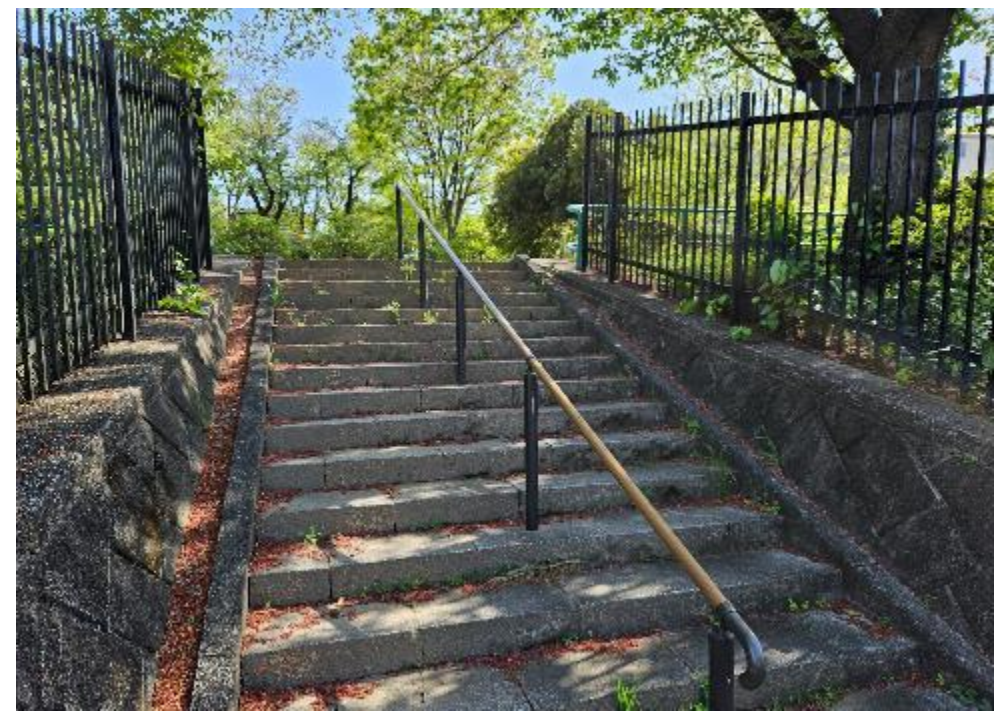
公園で待機・座れるように、あらかじめ  
組み立て式のベンチ等を用意













## 振り返り 反省点

- 距離は短かったが、公園に行くまでの上り坂でご利用者様の体力を奪ってしまう場面があった
- 上り坂でご利用者様を乗せた車椅子を押していく事は女性職員にとっては厳しい状況であった
- 離設リスクがある方のコントロールが大変であった  
(人員が更に必要となる)
- 普段と同じ職員体制で試みたが、安全面を考えるともう一名増やすか、3便体制で移動する方が安全と感じた。(今回は15名ずつ 職員2往復)
- 色々な事態を想定して今回の訓練に臨むことができたが実際の場面では、準備時間が少ないため、迅速かつ的確な指示を出せるかが今後の課題

	利用者様名	乗行	施設注意	必要車椅子
1		完全フリーでOK		
2		車椅子(自分のもの)		
3		車椅子が好ましい		1
4		自立	○	
5		自立	○	
6		近位見守り		
7		自立	○	
8		近位見守り		
9		車椅子が好ましい		1
10		完全フリーでOK		
11		近位見守り		
12		車椅子(自分のもの)		
13		近位見守り		
14		車椅子が好ましい		1
15		完全フリーでOK		
16		近位見守り		
17		近位見守り		
18		近位見守り		
19		完全フリーでOK		
20		完全フリーでOK		
21		車椅子が好ましい		1
22		近位見守り		
23		車椅子		1
24		完全フリーでOK		
25		近位見守り		
26		車椅子が好ましい		1
27		完全フリーでOK		
28		車椅子が好ましい		1
29		近位見守り		
30		車椅子(自分のもの)		
31		近位見守り	○	

由社職員

田中	管理者配置
奥田	相談員配置
和田	介護配置
飯沼	介護配置
山野	介護配置
田見	NS配置
武藤	機能訓練指導員配置

施設内見守り職員	1名	和田
移動先見守り職員	1名	田見
移動時刻対応職員	5名	奥田・飯沼・山野・武藤・田中

車椅子	10名
-----	-----

必要な椅子	21名分	
	飯沼	6人分
	前田	1人分
	小松	2人分
	田中	2人分
	倉庫から	3人分
	事務所から	7人分
		ブキ 椅 子 丸椅子

持参品

- ・ひざ掛け
- ・水分?

行きは歩き。帰りは車

ただし、公園にキャラバン1台置いておく。

14:45~開始 終了予定時間: 15:45

施設注車者については、石岡さん他に見守りをお願いする  
2回に分けて公園へ向かう

どの職員が誰をお連れするか?当日までに紐づけをする

検索情報提供書

発見時のご連絡は、以下をお願いします。

ツクイ 町田鶴川  
☎042-737-5666

〒195-0061 町田市鶴川1-16-1



●基本情報			
名前	[Redacted]		
性別	男性	年齢	78歳
姿が見えなくなった時間			
	日	時	分頃

●直前のお客様の様子

身長 体重	身長: 165 cm位 体重: 48 kg位
血液型	
足のサイズ	26-7 cm
体形	中肉中背
髪型・色	グレーヘア 短髪 顔面が薄い

検索情報提供書

発見時のご連絡は、以下をお願いします。

ツクイ 町田鶴川  
☎042-737-5666

〒195-0061 町田市鶴川1-16-1



●基本情報			
名前	[Redacted]		
性別	男性	年齢	73歳
姿が見えなくなった時間			
	日	時	分頃

●直前のお客様の様子

身長 体重	身長: 160 cm位 体重: 48 kg位
血液型	
足のサイズ	24 cm
体形	細身・小柄
髪型・色	グレーヘア 短髪七三分け

## 考察 感想

- 大災害時、徒歩での移動は負担しかなく、また別な手段（車両・車いす等）使った移動は人間的に見ても2重の事故のリスクが高いと感じました。
- 建物が半壊・全壊もしくはその場所に留まれない状況の場合は避難所（今回は公園）まで避難するしかないが、退避しない選択肢がある場合は、基本建物内で待機もしくは駐車場で待機がベストと感じました。



# 金井中学校 避難所開設訓練 参加報告

---

ピーぷるケア 青木

# 金井中学校 避難所開設訓練

## 10月19日(土)9:00～11:00

---

鶴川第一高齢者支援センターさん、鶴川第二高齢者支援センターさん、鶴川ひまわりさんと参加

近隣自治会、社会福祉協議会、障害サービス事業所等、計50名ほど参加  
車椅子の方も2名参加





# 当日の流れ

---

- ①町田市役所防災課より避難所開設の手順説明
- ②学校敷地内 備蓄倉庫確認
- ③発電機、バルーン投光器の使い方
- ④安否確認(別行動)
- ⑤体育館内テント、簡易トイレ確認
- ⑥質疑応答

# ①町田市役所防災課より避難所開設の流れを説明

---

大雨、台風時など予測できる事態の時は予め市の職員が学校へ行き、避難所の開設をする

震度6以上の地震の時は自動で開設、予めの準備はできないので市の職員と地域の方と協力をする。地域が孤立しないように地域と市の連携が大切

避難所は耐震化されている建物になるが、目視でヒビが無いかなど破損状況を確認して使用





## ②倉庫内確認

市で学校敷地内管理している建物は3つ

5年保存のきく食糧で1年サイクルで期限の近い物から入れ替え

食料・アルファ米、五目米、ビスケット、水など

簡易トイレ

毛布、ブランケット

テント、エアマット、台車、ギブス、LEDランタン、避難者名簿など

発電機、ガソリン

※被災地域に日本全国から物資が届く⇒立川玉災害備蓄倉庫に届く⇒成瀬総合体育館へ送られる。救援物資が手元に届くのに72時間以上かかることが考えられるので72時間は自身で過ごすことができるよう備えが必要

配食やデイの食事で食をまかなっている方への備えは課題



# ③発電機・バルーン投光器等の使い方

実演。プリントが配られ、参加していない方もQRコードで使い方を後日でも確認ができる。





# 町田市 避難施設開設における資機材

QRコードから動画視聴！



校舎トイレが使用不可でもマンホールの上にテントを設置してトイレを作ってみよう！



発電機とバルーン投光器で電気と照明を確保してみよう！



耐震化された水道管から災害時でも飲料水を安定供給してみよう！



避難施設の開設方法や感染症対策、テントの設営を実際にやってみよう！



ビスケットや水だけでなく、アルファ化米の炊き出しをお湯で15分、水だと60分。つくってみよう！

## ④安否確認

清風園まで車椅子を取りに行く⇒近隣の要避難者宅へ行き、車椅子に乗せ、急坂を越えて避難所の金井中学校まで押していく

要避難者の体格にもよるが、男性でも一人では車椅子を押して急坂を越えるのは大変。訓練時は5分程度の坂だったが、距離も考えると複数人での支援が必要。

中学校内は舗装路、スロープを使って体育館まで行けたが、土があるところは雨上がりでぬかるんでおり、少しの凸凹も拾うので複数人の支援が必要。





# ⑤ 体育館内・テント、簡易トイレの確認

体育館内は160名ほどの収容が可能

・簡易トイレは肘掛けもなく、便座も低いため、要介護者が使用するのは困難な方が多いと思われる。学校の設備のトイレを優先的に使用させてもらう必要あり。

・テントは屋根あり、屋根なしがそれぞれある。排泄介助などをその中で行うとすると屋根ありがマストだが、数に限りがある。

・オムツ類の備蓄はない。

自身で用意が必要。

・ベッドもない。

段ボールベッドはかさばる、  
重い。保管場所がない。



## ⑥質疑応答(参加者からの質問)

---

井戸は使える?⇒いくつか金井にあるが飲料用ではない。

避難所開設の情報はどこを見ればわかる?⇒市役所のHP見て。開設状況が分かる。市からのメールや無線でも流す。HPも見れない被害状況の場合、直接避難所に行っても開設できていない場合もある。日頃から近隣の複数の避難所を確認しておくといい。

平日の日中など学校だと授業中になっていたりして勝手に避難してしまうと対応に困る。

# 課題・感じたこと

---

・避難所は要介護者が利用するには課題が多く、避難できる対象者は要介護者だと限定されてくるため、自宅にいる選択肢も積極的に考えてよいと思うが、食事や医療ニーズ高い方の電気供給の問題などは個別に考えていくことが必要。

・避難により、介護サービスが一時途切れることも考えられる。また、環境が変わり、状態の悪化や新たなニーズが出てくることも想定される。

避難所は環境的には良いとは言えない。ベッドがない、オムツ等の備品がないなど。一方で電気や水、食料、簡易トイレなど最低限の設備は整っているため、メリットも大きい。

自力で避難できる方、避難をしたいけどできない方、避難が現実的に困難な方、と様々な方がいる現状。どなたが避難するのか、しないのか把握ができていると良い。

避難所の機能を知ることも避難の判断の材料になると感じました。



# 金井地区防災訓練

---

金井自主防災隊主催

報告：ハートケアプラン 堀場

# 【概要】

参加者 80名ほど

\* 参加地区

- ・金井
- ・木倉
- ・栗谷
- ・川井田
- ・森の丘
- ・ライフタウン代官山
- ・エステ・アベニュー鶴川代官山
- ・金井2丁目白山会
- \* 金井中学校学生

主催者

- \* 金井自主防災隊 \* 第3消防団 \* 町田消防署

【福祉関係参加者】

- \* 鶴川第1高齢者支援センター
- \* 鶴川第2高齢者支援センター
- \* 井の花ケアプラン
- \* ハートデイサービス
- \* ハートケアプラン





# 当日の流れ

1. 金井自主防災隊長挨拶
2. 4つのグループに分かれ各訓練場所にて訓練
  - ① スタンドパイプ設置訓練
  - ② AED救命訓練
  - ③ 消火器消火訓練
  - ④ 避難所用具確認



# ①スタンドパイプ設置訓練について

- ・消火栓(道路上の黄色で囲まれたマンホール)にスタンドパイプを設置
- ・スタンドパイプは各自治会防災倉庫等に保管





## ②AED救命訓練

- ・AEDの使い方を体験
- ・AEDの設置場所は「町田市地域別防災マップ」に記載されている



## ③消火器消火訓練

- ・放水が目標物に当てられるよう訓練





# 防災に関するクイズ



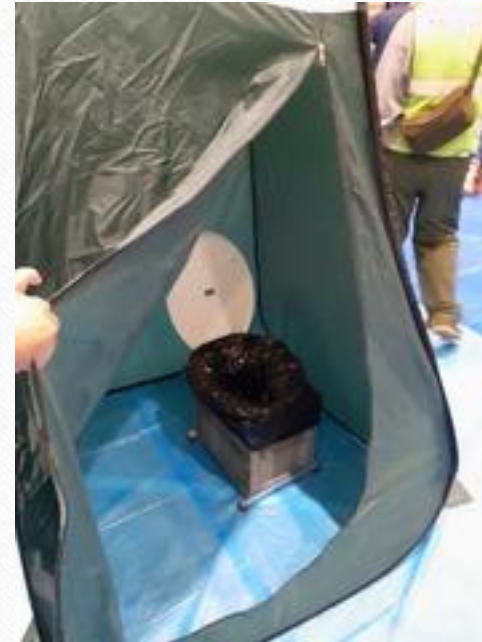
## ④避難所用具

- ・簡易マット、簡易テント、折り畳みトイレの説明、見て触って確認





# 折り畳みトイレ



- 座高は低く、足腰が弱い方は手すりが必要。
- テント内に入れることで、テントをまたぐ必要がある。
- 車椅子の方は使用が難しいと思われる。



# 感想

---

- ・スタンドパイプは初見であったり、道路上のマンホールが消火栓であったりと知らない事が多くいかに防災訓練参加が大切かと思いました。
- ・参加後は歩いていても防災倉庫の場所や消火栓の場所など意識するようになりました。

# 大蔵町内会防災訓練報告

イワナガ大蔵薬局 鯨岡

# 10月12日防災訓練

- 地震車
- 人工呼吸
- AEDの使い方
- 煙体験
- 救命救急訓練



# 11月16日 避難施設開設訓練

- 避難所本部開設
- 避難者誘導受付
- 避難者救護（保健室）
- 災害電話の設置・確認
- 避難所設営
- マンホールトイレ設置
- 防災資材・食料の確認

# 目的

- 震度6弱以上などの主に地震災害の大規模災害が発生した場合を想定し、大蔵小学校に避難施設を開設する
- 訓練参加者が全ての施設の班の開設が確実に理解できるように訓練する

# 参加者

大蔵小学校副校長、大蔵町内会、町田市役所防災課、大蔵町内会前役員、  
つるかわ和光台自主防災隊、桑陽台自主防災隊

# 訓練時の様子





# 防災倉庫備蓄

おむつ、トイレットペーパー、生理用品、口腔ケア用品、毛布、エアマット、座敷マット、LEDランタン、バルーン投光器、リヤカー、スリッパ、ごみ箱

アルファ化米、飲料水、ビスケット、粉ミルク、哺乳瓶、炊き出し釜、炊飯袋、飲料水袋

ガソリン缶、避難所間仕切りシステム、発電機、ラジオ、特設公衆電話用電話機、電話用充電器

マンホールトイレセット、組み立て式水槽、屋内用テント、防水シート、チェーンソー、トラロープ、指定職員用ビブス、腕章、ヘルメット、メガホン

レスキューシート、担架、感染対策用開設キット、応急給水セット、救助工具セット

# 震災時医療拠点

1. 成瀬台小学校
2. 相原小学校
3. 大蔵小学校

※大蔵小学校近隣拠点病院として、  
「鶴川サナトリウム病院」「鶴川記念病院」が指定されている。

# 緊急医療救護所の設置

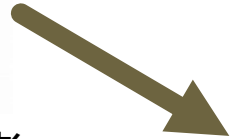
- ・被災を免れた医療機関には、発災直後から傷病者が殺到することが想定される。
- ・発災から超急性期においては、重症者等の治療・収容が優先される。
- ・災害拠点病院、災害拠点連携病院の敷地内に**緊急医療救護所**を設定して、トリアージを行うとともに軽症者に対して応急処置を行う。

町田市の場合は、医療資源の乏しい地域（3か所）に  
**「震災時医療拠点」**が設置されます。





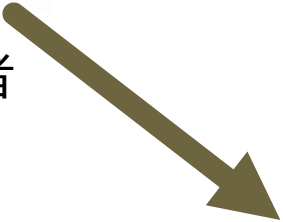
軽症患者



震災時医療拠点  
(大蔵小学校)



軽症患者



緊急医療救護所



重症患者

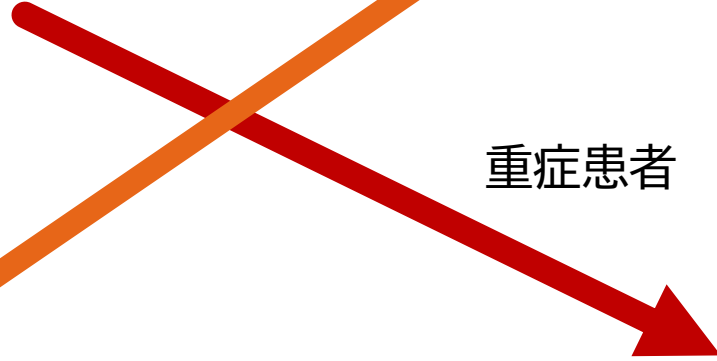


災害拠点病院  
(町田市民病院)  
(南町田病院)

中等症患者



重症患者



災害拠点連携病院  
(鶴川サナトリウム病院)  
(鶴川記念病院)

中等症患者



# 大蔵小の震災時医療拠点としての備蓄品

震災時医療拠点 内容品一覧表 (2020年2月6日配備)

No	品名	仕様規格	単位	数量
<b>診断用具</b>				
1	血圧計	メーター式(ケース入)	個	1
2	聴診器	リットマン型(ケース入)	個	1
3	体温計	平型(1分計)	個	1
4	打診器	吉村式	個	1
5	ペンライト	携帯用 (アルカリ単4 2本)	組	1
<b>蘇生吸引用具</b>				
6	開口器	E型	個	1
7	舌鉗子	コソ氏	個	1
<b>外科処置用具</b>				
8	止血鉗子	A型 14cm	本	1
9	外科剪刀	直 14cm	本	1
<b>創傷・熱傷・骨折用具</b>				
10	止血帯	E型	個	1
11	アルファ	2号(3個)・10号(6個)	個	9
12	紗布	白(滅菌)	枚	2
13	シート	白ビニール 2m	枚	2
14	救急シート	保温用	枚	2
15	識別バンド	赤・黄・緑(各10本)	本	30
16	金切鉋	アルファ切断用	丁	1
<b>筆記用具</b>				
17	トリアージタグ		枚	200
18	ボールペン	黒	本	10
19	災害処方せん	複写式	部	200
20	サインペン	赤・黒(各1本)	本	2
21	ホワイトボードマーカー(黒)	黒(1本)	本	1
22	ライティングシート	一巻	個	1
23	記載板	処方せん用	個	2
24	ゴミ袋	45リットル	枚	10
25	ゴミ袋	ポリ袋(41cm×28cm)	枚	100
26	ゴミ袋	ポリ袋(41cm×28cm)	枚	100
27	養生テープ	透明	個	1



# 災害活動薬剤師の役割

- ▶ 指定された緊急医療救護所、震災時医療拠点、救護連絡所に参集
- ▶ 緊急医療救護所における医薬品、衛生材料の管理、供給体制の整備・連携
- ▶ 緊急医療救護所の感染対策、衛生管理
- ▶ 薬剤師班班長の指示に従い医療救護活動に参加、災害処方箋に従った調剤



# 災害処方箋

災害時処方箋→救護所

避難所救護センター

モバイルファーマシー

保険調剤薬局

処方箋が無い場合→かかりつけ薬局

(薬歴管理がある薬局)

お薬手帳、服薬情報提供書が有

→かかりつけ薬局

保険調剤薬局

災害用処方箋

3枚複写

1枚目→救護所・災害拠点薬局  
2枚目→調剤所保管  
3枚目→患者用保管

緊急医療救護所・震災時医療拠点の名称

患者	氏名	男・女
	姓・名・姓・名・姓・名	年 月 日 生
	性別	年 月 日 生
交付年月日	年 月 日	
処方箋の使用期限	交付日を含めて4日以内	
処方		
備考	調剤薬局 「調剤薬局」又は「調剤薬局」の場合は、番号又は名称を併記してください。	
調剤済年月日	年 月 日	調剤した調剤師氏名
調剤師の所属する組織又は薬局の名称		町田市薬剤師会 - その他( )

救護所  
医療拠点

# 薬局の備蓄医薬品リスト

## ・内服薬

ロキソプロフェン錠、カロナール（200）、ファモチジンD（10）、ニフェジピンL(10)、ケフラール、アモキシシリンカプセル、セフカペンピボキシル細粒、PA錠、フスコデ、幼児用PL

## ・外用薬

ゲンタマイシン軟膏、リンデロンVG軟膏、アズノール軟膏、ジクロフェナクナトリウムクリーム、ロキソプロフェンテープ、ポピヨドン液  
消毒用エタノール、生理食塩水

## ・衛生材料

綿球、滅菌ガーゼ、伸縮包帯、弾力包帯、ネット包帯、三角巾、絆創膏、  
ディスポ手袋、ステリストリップスキנקロージャー

# 感想

震災時医療拠点立ち上げ訓練

医師、看護師の参加による診療・処置のシュミレーション

災害処方箋

備蓄医薬品の充実

OTC医薬品の備蓄

水害への備え→警報発令時の避難体制

通信手段の確保

地域連携の重要性